



# 十人十色のストーリー

## 座談会参加者



李克  
 大手リクルーティング  
 カンパニー



葉一  
 教育系  
 ユーチューバー



バンザラグチ・  
 ズンビレグ  
 人材コンサル会社



林 鉄兵  
 地方公務員



小川友美  
 派遣社員



竹谷祥子  
 グラフィック  
 デザイナー



中村実里  
 大手食品メーカー



本目さよ  
 地方議会議員



松尾貴臣  
 シンガーソングライター



阿部 哲  
 校正・校閲会社

## Q1 今の仕事に就くまでの ストーリーを聞かせてください。

葉一  
 教員をめざして  
 いましたが、教  
 育実習で学校の  
 先生のあまりの  
 忙しさを目の当  
 たりにして、「今の学校では  
 自分がめざすメンタルサポー

ト重視の教育はできない」と  
 感じました。また、社会経験  
 がないまま、子どもに「社会  
 とは……」を語ることに違和  
 感を持ち、ストレートで教員  
 になることはやめました。そ  
 れでも、いつかは教育に戻る

ことを目標に修行のつもりで、「飛び込み営業」の仕事に就いたんです。毎日「ピンポン」と呼び鈴を押しては怒られていました(笑)。  
 そのうちに持病が悪化して10カ月くらいで退職し、その後は塾講師をしていました。そこで感じたのは、月謝がかかる塾は家庭の経済状況によって、通える子どもに限られてしまう、塾に通えない子どもの中にこそ自分の授業を必

要としている人がいる、という  
 ことでした。そんな思いが  
 募って、ユーチューブで授業  
 動画を投稿すれば誰でも無料  
 で見られると思いついて。思  
 い立った翌日から配信を始め  
 ました。最初は収益化でき  
 と知らず、動画が広まれば講  
 演依頼がくるかもしれない程  
 度の気持ちでした。1年後に  
 広告収入モデルを知り、切り  
 替えましたが生活が成り立つ  
 までに約3年かかりました。



林 鉄兵  
 高校生の時に、  
 障がい者の介護  
 ボランティアを  
 して、いろんな  
 方と関わる中で、

就職先として役所を意識する  
 ようになりました。ちょうど  
 バブルの終わり頃で、生活保  
 護が増えた時期でした。公務員  
 をめざすという、安定して  
 いるとか、福利厚生がしっか  
 りしているということが理由  
 であると思われるのですが、  
 私の場合はそうではなく、む  
 しろ社会的弱者にアプローチ  
 できる仕事だと思って入りま  
 した。自分なりの言葉でいう  
 と、「社会正義に近い仕事があ  
 りたい」という感覚でした。い  
 ざ入ってみたら教育委員会の  
 スポーツ担当になったので、  
 全然ちゃうやん、と思いまし  
 た(笑)。  
 私はマッキント  
 ッシュというパ  
 ソコンが回り  
 始めた時にカル  
 チャーとして興  
 味をもったことがきっかけで  
 す。デザインの新しい可能性  
 を感じ、趣味の延長線上で選  
 んだのがデザイナーでした。  
 最初の会社は、美大出身で

もない私の経歴や志望理由を  
 面白い、と採用してくれまし  
 た。たくさんのことを学ばせ  
 てもらい感謝はしているのだ  
 ですが、当時は作業時間に際限  
 がなく、毎日終電で帰り、朝  
 は定時に出かけるという生活  
 が続いて。ある日、帰りの電  
 車で無意識のうちにツーッと  
 頬に涙が伝わってきたことが  
 あって。これ以上心身が持た  
 ないと、事務所を移りました。  
 デザイナーは同じ会社に長く  
 いるとデザイン性が固まって  
 しまうということもあって比  
 較的、転職率が高い気がしま  
 す。私も4社を経験しました  
 が、事務所を変えても、平日  
 に習い事ができるような働き  
 方はできなかつたので、30代  
 後半にフリーになりました。  
 きっかけは高校  
 の制服でした。  
 私の出身校はセ  
 ーラー服でした  
 が、寒い冬でも

まれてよかったか? という  
 調査をしたのですが、男性は  
 ほぼ全員が「よかった」と答  
 えるのに対して、女性は半分  
 出産や生理など身体に関する  
 理由が多く、中には「子ども  
 を産んだら仕事を辞めなけれ  
 ばならないから」と。その頃  
 から、出産や子育てが私の大  
 きなテーマになりました。  
 研究の道に進むことも考え  
 ましたが、会社の中から制度  
 や風土を変える実践がいち早  
 くできると思い、就職を選び  
 ました。社内を取り組むうち  
 に、政治家に同世代の女性が  
 増えれば社会が変わるかも、  
 と思ったのが29歳の時です。  
 今なら落選してもなんとか食  
 べていける、と「えいっ」と  
 政治の世界に飛び込みました。  
 大学時代、私は  
 思想とか歴史と  
 か人文学を通し  
 て批判的思考力  
 を学んでいたた  
 め、何かと社会を批判的に見  
 がちでした。「世の中に出た  
 ら死んじゃう」っていうよう  
 な否定的な観念で捉えた結果  
 まったく就活せず、ずるずる  
 過ごしていました。そんな中、  
 知人から紹介されたのが今の  
 会社です。在学中からアルバ

イトを始めて、何カ月かやっ  
 てみたら案外、校正が楽しく  
 て。自分の持っているスキル  
 も評価してもらい、お金も割  
 と稼げるし、今の会社に腰を  
 据えてしまったという感じ  
 です。  
 私は就活で様々  
 な壁にぶつかり  
 ました。まず、  
 外国人の立場で  
 新卒で就活をす  
 るのが大変でした。外国人の  
 新卒の就職率は日本人の半分  
 くらいで、職種も限られます。  
 「自分の軸は何か?」をここ  
 とん自己分析して、将来の職  
 業選定という視点で就活に臨  
 みました。  
 また、僕はトランスジェン  
 ダーです。女性として生まれ、  
 手術をして今は男性として生  
 きています。  
 私が手術をしたのが22歳、  
 大学3年の時でした。手術の  
 費用のことや回復の時間も考  
 え、計画的に就活から1年前  
 にしたのです。でも、男性と  
 して生きていくことが初めて  
 で、色々混乱している状態  
 でした。文化の壁などもある  
 中で、自分を表現する面接を  
 受けなければならぬ。しか  
 もそこではトランスジェンダ

## 竹谷祥子



私はマッキント  
 ッシュというパ  
 ソコンが回り  
 始めた時にカル  
 チャーとして興  
 味をもったことがきっかけで  
 す。デザインの新しい可能性  
 を感じ、趣味の延長線上で選  
 んだのがデザイナーでした。  
 最初の会社は、美大出身で

## 本目さよ



私の出身校はセ  
 ーラー服でした  
 が、寒い冬でも  
 の制服でした。  
 私の出身校はセ  
 ーラー服でした  
 が、寒い冬でも

## 阿部 哲



大学時代、私は  
 思想とか歴史と  
 か人文学を通し  
 て批判的思考力  
 を学んでいたた  
 め、何かと社会を批判的に見  
 がちでした。「世の中に出た  
 ら死んじゃう」っていうよう  
 な否定的な観念で捉えた結果  
 まったく就活せず、ずるずる  
 過ごしていました。そんな中、  
 知人から紹介されたのが今の  
 会社です。在学中からアルバ

## 李克



僕は就活で様々  
 な壁にぶつかり  
 ました。まず、  
 外国人の立場で  
 新卒で就活をす  
 るのが大変でした。外国人の  
 新卒の就職率は日本人の半分  
 くらいで、職種も限られます。  
 「自分の軸は何か?」をここ  
 とん自己分析して、将来の職  
 業選定という視点で就活に臨  
 みました。  
 また、僕はトランスジェン  
 ダーです。女性として生まれ、  
 手術をして今は男性として生  
 きています。  
 私が手術をしたのが22歳、  
 大学3年の時でした。手術の  
 費用のことや回復の時間も考  
 え、計画的に就活から1年前  
 にしたのです。でも、男性と  
 して生きていくことが初めて  
 で、色々混乱している状態  
 でした。文化の壁などもある  
 中で、自分を表現する面接を  
 受けなければならぬ。しか  
 もそこではトランスジェンダ

ーとして関わってきた活動は  
アピールできない。いろいろ  
と辛かったです。

50社くらいの説明会に参加  
しましたが、どのタイミング  
で伝えるのか、言ったらどん  
な反応をされるのか。言った  
後に不合格にされないか。い  
ろいろなことを考えながら就  
活を続けました。最終的に2  
つの会社に内定をもらいまし  
たが、トランスジェンダーの  
ことを説明したのは内定後で  
した。

バンザラグチ・ズンビレグ



昨年の6月にモ  
ンゴルの大学を  
卒業しました。  
モンゴルは日本  
と違って就活は  
卒業後に行います。法学部卒  
ですが、専攻とは別の分野や  
外国で働いて自分を成長させ  
たいと考えて来日しました。  
通っていた日本語学校で今の  
会社の代表と出会い、面接を  
受けました。今年3月の入社  
です。

中村実里



学生時代、バス  
ケットボールを  
続け、大学でも  
体育会の部活に  
所属してしまし  
た。就活前は自分に何ができ  
るのか、どんな能力があるの  
かが分からなくて悩みました。  
ただ、学生時代は部活動に専  
念してきたので、社会人にな  
ったら、自分のやりたいこと  
や家族との時間をとれるよう  
な会社を選ぼう、と思ってい  
ました。  
今の会社は、部活動中に飲  
んでいたアミノ酸サプリの製  
造元だったので、身近に感じ  
て、受けることにしました。  
面接では、志望動機などで  
はなく、私がどう生きてきた  
かに焦点をあてたやりとりだ  
り。

松尾貴臣



中学生の時、父  
親の部屋にあつ  
たギターを弾き  
始めました。演  
奏家としてより  
も作詞作曲することに魅力を  
感じ、高校生の時、曲を50曲  
くらい作りました。そのうち  
に、「自分はプロの歌手にな  
るんだ」という思いが固まっ  
ていきました。  
すぐにも東京に行って試  
してみたいという思いもあり  
ましたが、通っていた高校は  
進学校。周囲を見て、大学に  
行けば認めてもらえると思い、  
関東圏の国立大学に進学しま  
した。就活の時期に、親から  
大学院進学を勧められました。  
就職する時に有利になると思  
つてのことだったと思います。  
それだったら、負担をかけな  
いかわりに好きなことをやら  
せてもらおう、とアルバイト  
をしながら大学院にも通い、  
音楽活動を続けました。  
卒業後、「株」ころざし音  
楽工房」という個人事務所を

立ち上げて約10年になります。  
車に機材を積んで、全国を旅  
しながらライブハウスやイベ  
ント会場などで歌っています。  
その中で、ライブハウスがな  
い地域でも開催できて、なか  
なか生でコンサートが観られ  
ない人たちに、音楽を届けら  
れる場所があると気づいて。  
福祉施設、病院などで歌う  
「ホスピタルライブ」をこれ  
まで2700回くらい開催し  
てきました。



座談会の様子。仕事  
選びのきっかけや転  
機、自身の仕事に対  
する思いなどを参加  
者同士で語り合った。

小川友美



妊娠を機に最初  
に働いた会社を  
1年半で退職し  
ました。家事も  
子育ても好きな  
ので、しばらくは専業主婦も  
いいなと感じていました。そ

Q2 仕事をしながら  
どんな時に  
やりがいを感じますか？



目の前ですぐ結果が  
返ってくることです  
ね。歌って、「ありがとう」と  
言われるだけでも。その上、  
CDを買ってもらえたら最高  
です。



同じです。子どもた  
ちからのコメントが  
一番の励みです。何万人にも  
思いを届けられるのは、ユー  
チューバーの特権ですね。



私の担当業務は就労  
管理で、機微な情報  
を扱うので、ミスなくできて  
当たり前と思われています。  
でも、当たり前のことに対し  
て、誰かから感謝される。復  
職した方から、「面倒をみて  
くれてありがとう」と言われ  
ると、あったかい気持ちにな  
るんですよ。



バックヤードで誰か  
が仕事をしてくれて  
いるから自分の仕事に集中で  
きる。スポーツイベントなど、  
チームプレーが楽しかった。  
ゴールに向かってチームがま

とまっけていく高揚感は組織な  
らでは。誰かの役に立ってい  
るといふ実感があるのも大き  
いかなあ。



それは精神安定上、  
大きいですね。でも、  
他者から評価されないうちは、  
目の前の仕事やそれに関わる  
自分の価値を見出さなくな  
ります。



小さい会社ならのや  
りがいを見出して  
います。入社一年目でいろんな  
経験ができ、インターンシッ  
プ企画を任せられた時には、す  
ごくやりがいを感じました。



僕の場合は、お酒の  
本の校正を任せられ  
た時、学生時代に飲み歩くうち  
なんとなく覚えてしまったウ  
イスキーの銘柄や製法がすご  
く役立つんです。役立てよ  
うとも思っていなかった雑学  
が仕事に生き、本というアウ  
トプットとして残ると思うと、  
どんな経験も無駄にはならな  
いんだ、と嬉しかったです。

Q3 自分に合っている  
働き方について  
考えたことはありますか？



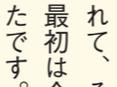
公務員は、個人とし  
ての自分を消して組  
織のあるべき姿で自分の役割  
を演じるチームプレー。だか  
ら、僕が明日いなくても、誰  
かが同じ仕事をできる。例え  
ば、東日本大震災の時、他の  
自治体に応援に行っても、す  
ぐに対応できました。それが  
公務員の特性で、行政の安定  
性だと思います。



フリーになって、自  
分で働き方をコント  
ロールできるスタイルが合っ  
ていると分かりました。なに  
より朝の通勤電車に乗らずに  
すむのがいい。東京の通勤電  
車は外国の人はびっくりする  
のでは？



はい。でも、私の場  
合は始業時間が少し  
遅いので大丈夫です。それよ  
りも、モンゴルでは遊牧生活  
の影響から「明日午後には会  
う」と約束しても時間を決  
めなかったりしますが、日本  
ではしつかりスケジュールさ



会社員もフリーラン  
スもそれぞれ良さは  
あるのですが、自分のやりた  
いこと、ミッションがある時  
は、フリーでネットワークが  
軽い方が動きやすいです。た  
だ、仕事の相談をしながら  
協力してタスクを達成したり、  
職場の人とごはんを食べに行  
ったりするには憧れもあり  
ますね。



働き方に対する考え  
方は本当に多様だと  
感じます。今の職場は50万国  
ほどの人が働いていて、仕事  
の進め方や大事にしているこ  
と、本当に色々な価値観があ  
ります。だから、コミュニケーション  
する時は、バイアス  
なしで、お互いに真摯に接し  
て、自ら発信することが重要  
です。個性を認めつつ、成果  
をあげられるのがプロフェッ  
ショナルだと思います。

## Q4 自分に合った働き方と生活面との折り合いはどうつけていますか？



フリーだと、自由と引き換えに、自分で仕事を取らないと収入がなくなる不安はついてまわります。



分かります。突然仕事がなくならない瞬間もあって。そんな時には社会との接点が欲しくなりますね。同年代の仲間が昇進や昇給しているのを見ると、人間的にも成長して見えて、うらやましくなる時もあります。



ユーチューバーは、既存の動画が再生されればお金が入るので、1ヵ月くらい投稿しなくても成り立つんです。でも、一度投稿をサボってしまうと積み上げてきたものが一瞬で崩れる。

だから最近では、午前中は撮影、午後に編集とメール対応などと、1日のスケジュールを細かく組むようにしています。特に編集作業は、手を加えようと思つと際限がないので、時間を決めるのが大事なんです。



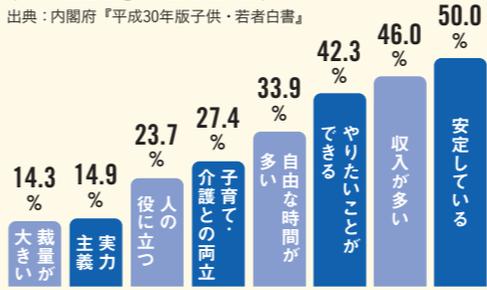
有期雇用の派遣でいつまで働けるのか分からない不安があります。交通費が出なかったり、休日が多い月は給料が減って収入が安定しなかったり。納得できないことがたくさんあります。



小規模の会社では残業代未払いなどの話も聞きますが、うちはちゃんと出て、その意味では安定していると感じます。会社の規模ではなく、経営者の考え方によるのかもしれないね。

### 仕事を選択する際に重要視する観点 （「とても重要」と答えた割合）

出典：内閣府『平成30年版子供・若者白書』



## Q6 学生や新社会人の方にエールを送ってください。



僕のようにぼんやりしたタイプの人は考えれば考えるほどドツボにはまって就職から逃げたくなることもあると思います。でも、意外と飛び込んでみると「なんとかなる」ものですよ。僕がそうでした。



妊娠した時、「周りもそうだから」と最初の仕事を簡単に辞めてしまいました。もう少し知識があれば辞めなくてすんだかもしれないですね。就活の時期は、自分の人生を真剣に考えてみるチャンスです。社会の動きや産休・育休をはじめ、自分と関係する制度を調べて学んでおくことも大事です。



入社一年目でミスすることも多いのですが、それで落ち込むのは自分にも会社にもマイナスだと分かってきました。失敗した時には、「人は死ぬまで学んで成長し続ける。失敗こそ学び」と言い聞かせるようにしています。



僕は国籍もジェンダーでも、人と違うことで困難もあります。でも、採用されたからには、いかにビジネス価値をお返しするかを考え、まずは目の前のことをやりきることを意識しています。物事にはすべて両面性があります。今はマイナスに思えても、後から考えるとそれが糧になることがあります。



今振り返ると、最初アクティブモードで緩め方を知りませんでした。人は、一日の中で交感神経と副交感神経のバランスを取りながら、心身の健康を保っています。私はヨガを始めてから、その方法を見つけた。整え方は人それぞれにあると思います。自分なりの方法を見つけてください。



僕の場合は、職場とイーを保持していたことが良かったのかもしれない。労働

## Q5 家族との時間と仕事の両立はどんなふうにしていますか？



出産や子育てをテーマに議員になったので、家族との経験が全て仕事に生きるんです。例えば、子どもの検診に夫と行くと、係の人が母親の私にしか話しかけない。そんな体験から改善点が見つかるので面白いです。



似ていますね。僕は月の半分はミュージシャン、残りは主夫の生活です。娘と遊んでいるところをSNSにアップすると、祖母世代が「仕事も子育ても頑張つて素敵ね」と、「いいね」を押してくれる。その経験をまた歌にできます。



その分、仕事とプライベートの区別がつきにくいですがね。時々、優先順位に悩むことがあります。うちは妻が幼稚園の教員としてフルタイムで働いているので保育園送り迎えを含め、僕が積極的に子どもの相手をしています。動画配信は、空いた時間

で作業ができるので比較的時間に融通が利きます。自分がこの働き方だから成立しているのだと思います。



私は妊娠を機に仕事を辞めてしまったので出産後の再就職が本当に大変でした。私の両親も、夫の両親も近くにいないし、預け先は見つからない。でも、預け先はたまたま自治体のサポート事業で預かってもらえて、なんとか就活できましたが、その時置かれた環境には未だにモヤモヤした思いを抱えています。



やはり職場の制度や雰囲気は大きいですね。私の職場では育児のために短時間勤務ができます。在宅ワークも可能なので子どもとの面倒を見ながら仕事をすることができます。育児をする男性も増えてきていますし、育児をきっかけに辞める方はほとんどいないです。



つまずいた時、人は旅に出たり、お酒を飲んだりしますが、僕は仕事でそんな感じですから（笑）。それでもたまには理不尽な目にあつたり、トラブルが起きたりします。その度に将来のために、「あの壁を乗り越えた」と言えるネタを増やしているんだと考えます。例えば、旅先で車が壊れて一瞬、ネガティブな気持ちになつても、ネタと捉えれば、「おいしい話」と思い直せます。



ネタを増やすという感覚はすごく分かかります。私も、「10年後から見たら今の私ってどうだろう？」と考えてみるようにしています。すると、「こんな面白い話になっていくわ」と。自分を客観視して、自分の機嫌をとれるように、どういう時に嬉しいと感じるか、気持ちが出沈むのか、をメモすることもおすすめです。



ネットの世界は、誹謗中傷が日常茶飯事。放っておくと嫌なコメントが目が向いてしまう。そんな時は、「今、嫌な気持ちに傾いているな」と意識してストップをかけます。そして、子どもたちからの嬉しいコメントを思い出したり、営業時代に怒鳴られた経験と比べたりして冷静になります。



働き方も仕事も多様になってきています。僕が社会に出た頃は自宅で動画配信する職業なんて考えられませんでした。今の若い人にはいろんな選択肢があります。希望をもつて動いてもらいたいです。



働き方改革が進む過程で世代間ギャップが生まれることもあります。うちの会社ではメンター制度のアレンジで、若手社員が経営会議メンバーのメンターとなるリバースメンター制度のトライアルをしています。世代間でお互いの強みや弱みを理解し、助け合う関係性が今はより大切だと感じます。先輩方に教えてもらうだけでなく、若い人からもアプローチして、より良い職場になっていけばいいな、と思っています。